

京丹後市報道関係者情報提供資料

表 題	令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウムの開催
-----	---------------------------

1 年 月 日	令和5年1月25日（水）
2 所 管 課	京丹後市教育委員会事務局 文化財保護課
3 連 絡 先	電話：0772-69-0640 / FAX：0772-68-9061
4 内 容	令和4年12月12日付けで国の重要文化財に指定された京丹後市丹後町袖志の経ヶ岬灯台について広く周知するとともに、伊根町を含めた広域の文化観光への活用を考えるためのシンポジウムを開催します。 記 (1) 趣旨 経ヶ岬灯台が国の重要文化財に指定されたことを記念し、経ヶ岬灯台や伊根浦伝統的建造物群保存地区などの丹後地域の貴重な文化遺産について、文化財と文化観光の両面から考える。 (2) 事業名 令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウム (3) 主催 京丹後市教育委員会・海の京都DMO・京都府立丹後郷土資料館 (4) 後援 京丹後市・伊根町・伊根町教育委員会 (5) 内容及び日時等 ○第1部 講演1「経ヶ岬灯台の文化財的価値」 番 光 氏（文化庁文化財第二課調査官） 講演2「伊根町の文化観光資産の魅力」 吉田 晃彦 氏（海の京都DMO伊根地域本部事務局長） 日時：令和5年3月4日（土）13時30分～15時30分 場所：京都府立丹後郷土資料館（定員30名） （パブリックビューイング）丹後庁舎2階204会議室（定員50名） ○第2部 講演3「現役の航路標識について」 藤島 充良 氏（元鳥羽海上保安部次長（現 四日市海上保安部職員）） 討論 「経ヶ岬灯台と文化観光資産の観光周遊活用について」 パネリスト 山口 圭一 氏（経ヶ岬灯台保存会） 小山 元孝 氏（福知山公立大学地域経営学部教授） 番 光 氏（文化庁文化財第二課調査官） 藤島 充良 氏（元鳥羽海上保安部次長（現 四日市海上保安部職員）） 吉田 晃彦 氏（海の京都DMO伊根地域本部事務局長）

日時：令和5年3月5日（日）正午～14時

場所：丹後庁舎2階204会議室（定員50名）

（パブリックビューイング）京都府立丹後郷土資料館（定員30名）

（6）参加費
無料

（7）その他
新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催します。

以上

＜問い合わせ＞ 京丹後市教育委員会事務局文化財保護課 電話：0772-69-0640 / FAX：0772-68-9061
--

令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウム

【第1部】

日時 令和5年3月4日（土）午後1時30分～3時30分
場所 京都府立丹後郷土資料館 定員 30名
(パブリックビューイング)
京丹後市丹後庁舎2階 204 会議室 定員 50名

講演1 「経ヶ岬灯台の文化財的価値」

番 光 氏 文化庁文化財第二課調査官

講演2 「伊根町の文化観光資産の魅力」

吉田 晃彦 氏 海の京都 DMO 伊根地域本部事務局長

【第2部】

日時 令和5年3月5日（日）正午～午後2時
場所 京丹後市丹後庁舎2階 204 会議室 定員 50名
(パブリックビューイング) 京都府立丹後郷土資料館 定員 30名
講演3 「現役の航路標識について」 藤島 充良 氏
元鳥羽海上保安部次長（現 四日市海上保安部職員）

討 論 経ヶ岬灯台と文化観光資産の観光周遊活用について

パネリスト 山口 圭一 氏（経ヶ岬灯台保存会）
小山 元孝 氏（福知山公立大学地域経営学部教授）
番 光 氏
藤島 充良 氏
吉田 晃彦 氏



問合せ先 京都府立丹後郷土資料館

0772-27-0230

京丹後市教育委員会文化財保護課 0772-69-0640 (京丹後市丹後庁舎関係)

主 催 京丹後市教育委員会・海の京都DMO・京都府立丹後郷土資料館

後 援 京丹後市・伊根町・伊根町教育委員会

令和4年度海の京都の文化観光連携シンポジウム

経ヶ岬灯台（京丹後市丹後町）、伊根浦伝統的建造物群保存地区（伊根町）などの丹後地域の貴重な文化遺産を、地域が連携していくことにより、いかに文化観光に活かしていくことができるでしょうか。

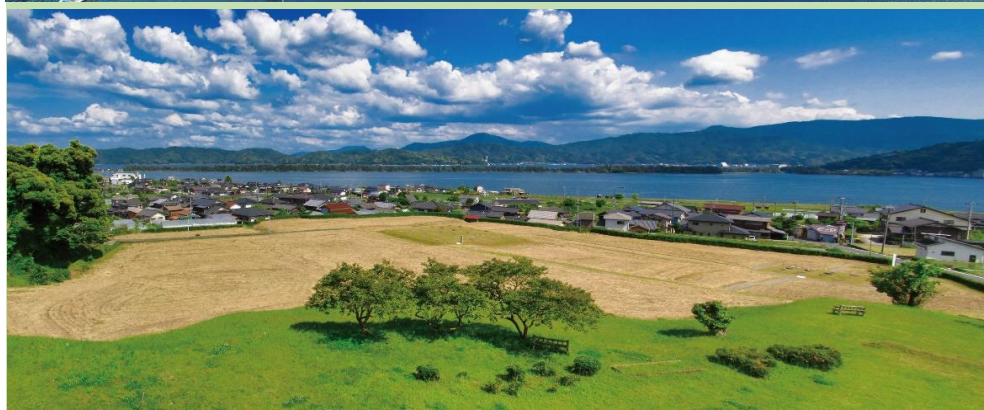
本シンポジウムでは、その可能性、将来像をさぐります。



経ヶ岬灯台（京丹後市）
（国の重要文化財の答申、
令和5年11月）



伊根浦伝統的建造物群保存地区
（伊根町）



丹後郷土資料館（宮津市）
からみた国の特別名勝天橋立